

消防職員を募集!!(平成31年4月採用)

採用試験のご案内

採用予定日	平成31年4月1日	採用予定人数	9名程度
第1次試験日	平成30年9月16日(日)		
第1次試験会場	獨協大学 最寄駅【獨協大学前駅】		
申込方法	採用試験申込書等の必要書類を提出		
受付期間	平成30年8月5日(日)から平成30年8月7日(火)まで		
受付時間	午前9時00分から午後5時00分まで		
受付場所	草加消防署3階講堂(草加市神明2-2-2) ※代理持参可、郵送受付不可		

問合せ先 草加八潮消防局総務課人事経理係
電話:048-924-2112

※募集要項及び採用試験申込書は、草加八潮消防組合各施設または当組合ホームページにて取得できます。(平成30年7月上旬予定)
※募集要項の一部(申込方法等)については、広報そうか7月号及び広報やしお7月号にも掲載します。

多様化する災害や事故、複雑化する都市構造等に的確に対応し、管内人口約34万人の安全、安心をともに守る意欲のある人材を募集します。



新人職員の訓練の様子

組織及び主な事務

消防局	総務担当	消防局、消防署の事務の総合調整。
	総務課	人事管理、研修、企画、予算に関すること。
	予防課	消防同意、違反是正、危険物規制、火災原因調査等。
	警防課	警防活動、救急活動に関すること。
消防署	情報指令課	災害の出動指令に関すること。
	草加消防署	災害の警戒、防ぎよ、鎮圧、救急、救助。防火対象物の立入検査。
	八潮消防署	少量危険物の届け出に関すること。



平成30年4月1日付け新規採用職員の8名
約1か月間の訓練を終え皆さんイイ顔になってきました!

消防隊

災害現場に出動し、消火活動をはじめとする、人命救助を行います。普段は、災害現場を想定した訓練を行うとともに、管内に約5,200ある防火水槽や消火栓などが使える状態にあるか点検を実施しています。

また、危険物の届出の受理や、地域の防災訓練の相談なども受けています。

さらに、救急隊だけでは人手不足となる現場には、消防車で同時に出動し、救急隊のサポートも行います。



救助隊

交通事故で車の中に閉じ込められた人の救出や、地震などで崩れた建物の下敷きになっている人などを救出する、人命救助のスペシャリストです。

救助隊には、様々な資機材が装備されており、安全、確実、迅速に使用できるよう、日頃から多くの訓練を行っています。

なお、当消防局には、救助隊が2隊あり、複数の災害にも同時に対応できる体制となっています。



救急隊

急なケガや病気の人に応急処置を行い、救急車で医療機関へ搬送します。救急車に乗車している救急救命士には、高度な知識と的確な処置・判断が求められるため、常に研修や訓練を行い、知識・技術の研鑽に努めています。

また、市民に対し、救命講習等を通して、AEDを使用した心肺蘇生法を広める活動も行っています。



指揮隊

指揮隊は、あらゆる災害現場に出動し、被害状況の把握を行い、部隊を効率的に展開するとともに、あらゆる情報を収集し、災害現場の総合的な統括を行う部隊です。

また、火災原因の調査も所掌しています。



草加八潮消防局

〒340-0012 TEL048-924-0119
草加市神明2-2-2 FAX048-928-8338
ホームページ <http://soka-yashio119.jp/>

No.6 6月号
2018年



【埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)登録部隊】

埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)に登録しました

草加八潮消防局の高度救助隊が、平成30年4月より埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)の登録部隊となりました。

埼玉県特別機動援助隊とは、平成18年7月に創設され、高度な資機材を装備し、特別な教育・訓練を受けた消防(局)本部の機動救助隊、埼玉DMAT(災害派遣医療チーム)及び埼玉県防災航空隊で編成され、埼玉県知事の指示または要請に基づき活動する部隊です。

この部隊は、埼玉県内における地震、台風及び集中豪雨等による建物倒壊や崖崩れ、航空機の墜落、列車の転覆、脱線、バスの転落、高速道路上での多重事故等の事態が発生または発生すると見込まれた場合に出勤します。

今後は、通常の災害活動に加え埼玉県特別機動援助隊の一員として、関係機関と連携し、迅速な人命救助活動に邁進していきます。(関連記事2面に掲載)

埼玉県特別機動援助隊の合同訓練が実施されました

埼玉県特別機動援助隊(埼玉SMART)の合同訓練が、平成30年2月9日(金)に草加市(綾瀬川左岸広場)で実施されました。訓練では、草加市内のイベント会場付近の陸橋が崩れ、多数の負傷者が発生したことを想定した各種訓練が実施されました。

合同訓練のようす



受援対応訓練



指揮統制訓練



救出救護訓練



救出救護訓練



応急救護訓練



応急救護訓練

女性消防吏員も活躍しています!

消防の仕事は、男性ばかりが活躍しているわけではありません。草加八潮消防局では、各分野で女性消防吏員も活躍しています。女性消防吏員が増加し活躍することにより、住民サービスの向上及び消防組織の強化につながることを期待されます。



※「消防吏員」とは、階級を有し、消火活動中の緊急措置等、消防法上の権限を有する者をいいます。

◆女性消防吏員所属別人数

毎日勤務				交代制勤務	
草加消防署	総務課	予防課	警防課	草加消防署	八潮消防署
1人	4人	3人	2人	9人	3人

◆全消防吏員に占める女性消防吏員の割合

草加八潮消防局			全国	
消防吏員数	女性消防吏員数	女性消防吏員の比率	消防吏員数	女性消防吏員の比率
331人	22人	6.6%		2.5%

消防広域化前の草加市消防本部では平成13年度から、八潮市消防本部では平成18年度から女性消防吏員の採用を開始しました。

平成30年4月1日現在、22名の女性消防吏員が、毎日勤務職員のほか、交代制勤務職員として消防隊、救急隊などで活躍しています。

全国の消防吏員全体に占める女性消防吏員の割合は2.5%(平成29年4月1日現在)ですが、草加八潮消防局では6.6%(平成30年4月1日現在)と高い割合となっています。

草加八潮消防組合議会が開催されました

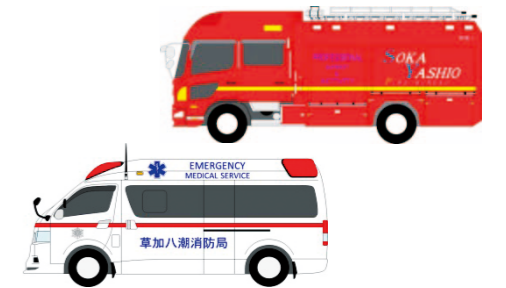
主な内容は、以下のとおりです。

◆平成30年第1回定例会(3月29日)

専決処分2件、予算1件(平成30年度一般会計)、条例3件、公平委員会委員の選任1件が審議され、いずれも承認、原案可決、同意となりました。

◆平成30年第1回臨時会(5月28日)

条例1件、財産の取得2件が審議され、いずれも原案可決となりました。



平成30年度 組合予算の概要をお知らせします

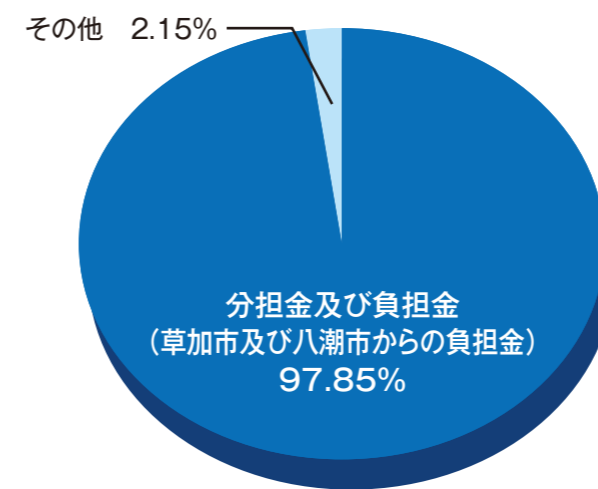
一般会計 当初予算…35億200万円

●平成30年度の主な施策●

- 高規格救急自動車の購入(八潮消防署配備の更新) ——— (1台)3,260万9,000円
- 草加市消防団(第4分団第1部)及び八潮市消防団(第1分団第1部)の消防ポンプ自動車の購入(消防団配備の更新) ——— (計2台)3,772万4,000円

歳入内訳	予算額	構成比
分担金及び負担金	34億2,669万3,000円	97.85%
使用料及び手数料	412万4,000円	0.12%
財産収入・寄附金・繰越金・諸収入	888万3,000円	0.25%
組合債	6,230万0,000円	1.78%
歳入合計	35億 200万0,000円	100.00%

■歳入



歳出内訳	予算額	構成比
議会費	242万5,000円	0.07%
総務費	3,385万7,000円	0.97%
消防費	34億2,838万3,000円	97.90%
公債費	3,233万5,000円	0.92%
予備費	500万0,000円	0.14%
歳出合計	35億 200万0,000円	100.00%

■歳出

